

研究課題番号	3-2003
研究課題名	バイオガスを燃料とする自律分散型高効率電源の実現に向けた固体酸化物燃料電池の開発
研究実施期間	2020 年度～2022 年度
研究機関名	岡山大学
研究代表者名	亀島 欣一

1. 委員の指摘及び提言概要

基礎的なデータの蓄積ができているところについては評価する。2度の緊急事態宣言により研究が影響を受けたことは理解できるが、目標発電効率 50%と達成効率 20%との乖離は大きい。システム解析などによる今後の対応方針の考察が必要であり、どう具現化するか、引き続き検討することが求められる。また、実バイオガスでの成果については希釈などが含まれており、実ガスをもっと前面に出した報告（発電効率、炭素析出、不純物についての総合的な課題と展望）とすべきである。これまでの成果と現状を踏まえたうえで、自律分散型高効率電源に向けた道筋を明らかにする必要がある。

2. 採点結果

評価ランク：B